

平成29年度

事業報告

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益社団法人 京都染織文化協会

1. 会員の加入及び退会

	期首	加入	退会	期末
会員数	45	0	2	43

加入商社：なし

退会商社：市田(株)京都店、千切屋治兵衛(株)

2. 会務

■第69期通常総会

平成29年 5月26日	京都ホテルオークラ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度事業報告承認の件 2. 平成28年度決算報告承認の件 3. 平成29年度事業計画(案)承認の件 4. 平成29年度収支予算(案)承認の件 5. 役員改選の件 6. 定款変更の件 7. 役員報酬規定変更の件 8. その他
----------------	-----------	---

■理事会

平成29年 4月18日	丸池藤井ビル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成28年度事業報告の件 2. 平成28年度収支決算報告の件 3. その他
----------------	--------	--

6月6日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事長、副理事長及び常務理事の選任について 2. その他
------	------	--

8月30日	書面決議	<ol style="list-style-type: none"> 1. KPA 京都プリント振興協会主催『メイキング・ワークショップ2018』に対する当協会の共催名義使用許可並びに助成金(50万円)の交付承認について 2. ①(株)細尾『きものスタイルのグローバル展開』に関する助成金(17.6万円)の交付承認について ②(株)伊と幸『着物の素材となる絹の白生地を「きものサローネ」でPR』に関する助成金(69万)の交付承認について ③(株)宮井『保永堂版『東海道五十三次』復刻に伴う活用拡大協力の取組み』に関する助成金(55万)の交付承認について 3. その他
-------	------	--

平成30年 3月19日	からすま京都ホテル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度事業計画(案)の件 2. 平成30年度収支予算(案)の件 3. 代表・業務執行理事の職務執行報告 4. 第70期通常総会の件 5. その他
----------------	-----------	--

3. 実施事業

■公益事業

(1) 染織文化資源の保全と啓発事業

当協会が基本財産に位置付ける「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、これら所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

*「染織祭」の詳細調査並びに公開

当事業は、昭和6年～26年に挙行された染織祭について北野裕子氏（龍谷大学社会科学研究所客員研究員）に調査を依頼し、現存する史料や文献、ヒアリングなどから当時の社会・経済背景、染織祭挙行の経緯、衣装制作の詳細を明らかにすることで、いまだ認知の薄い染織祭と復元女性時代衣装の存在を一般に広く知ってもらい、染織文化・染織技術を継承する目的で取り組んでおり、今年度は次の通り調査を行った。（継続事業）

<今年度調査先>

- ・文献調査—（一財）西陣織物館、京都府立京都学・歴彩館、龍谷大学京都産業学センター
- ・現物調査—松下装束店
- ・写真調査—松栄堂
- ・映像調査—京都府京都文化博物館、NPO「京都の文化を映像で記録する会」

<調査成果の公開>

- ・10/28開催の京都大学人文科学研究所研究会にて北野氏により調査成果の発表を行い、研究者への啓発並びに情報提供を呼びかけた。
- ・当協会ウェブサイトにて「染織祭フォトギャラリー」を新設し、昭和6年第1回染織祭の写真65枚を公開した。
- ・NHK京都「京いちにち 京都思い出シアター」（平成30年3月27日放送）にて放映された昭和11年第6回染織祭の映像について解説協力を行い、視聴者に向けて染織祭の啓発を行った。また所有先より上記映像とともに昭和7年第2回染織祭映像の提供協力を受けた。
- ・調査により明らかになった内容は当協会ウェブサイト並びにインターネット上で展開するフリー百科事典『Wikipedia』に追加掲載して一般社会に啓発した。

*染織祭関係史料のデジタル保存と保全

当事業は染織祭の記録や軌跡を保全するために、当協会が保管する染織祭関係史料をデータ化し、劣化防止のため中性紙箱で保管する目的で取り組んでいる。

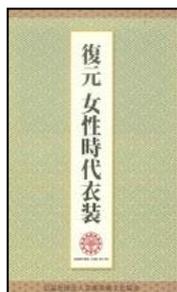
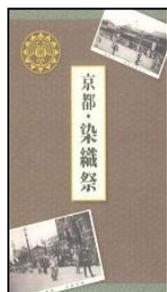
昨年度全ての史料のデータ化が終了し、今年度はウェブサイト上で公開するためデータを加工する作業を行った。

<今年度作業>

- ・染織祭関連史料（昭和6～20年）3冊
- ・衣装・行列関連史料（昭和8年以降）4冊
- ・染織講社規約関連史料（昭和6～13年）3冊
- ・会議・会計関連史料（昭和6年～24年）29冊
- ・衣装引き渡し関連史料（昭和22～28年）3冊

* 「染織祭」パンフレットの増刷と配布

染織祭調査の成果として染織祭の軌跡ならびに染織祭衣装の詳細をまとめたパンフレットを染織祭調査依頼先や展覧会来場者などに配布して染織祭並びに染織祭衣装の啓発を行うとともに、パンフレットを増刷した。



* 染織技術アーカイブの作成並びに公開

当事業は、所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容を当協会ウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で行っている。

染織祭衣装は北川満哉氏（学芸員）、全国染織産地合同制作布地は福井健二氏（染織専門家）に調査、解説を依頼し、今年度は次の通り公開した。

（新規公開内容）

「染織衣装」／上古時代衣装 16 領 ※今年度で全ての衣装を公開済。

公開技術 「織る」……紗

「染める」……摺染

「全国染織産地合同制作布地」／1999～2000 年秋・冬物向布地 16 点

公開技術 「織る」……ツイード、ベルベット

「編む」……ジャージー、レース

「染める」……柿渋染め、鉄媒染

「装飾」……擬麻加工、起毛加工、箔加工、シワ加工、樹脂加工

* 染織祭衣装の補修・修繕並びにレプリカ制作

■補修・修繕

当協会が設定する「傷みの5段階評価」に基づき、今年度は前年度に引き続き次の通り補修を行った。（継続事業）

<対象衣装>

鎌倉時代 2・4・9 号「小袖」

〃 1・2・12 号「桂」

〃 8 号「被衣」

<依頼先>

松下装束店（京都市中京区）

■レプリカ制作

衣装の劣化に伴う将来の備えとして、また職人による技術復興・継承の機会として複製の制作を行った。（継続事業）

<対象衣装>

①室町時代 12 号「石畳取草花文様小袖」（辻が花小袖）

②安土桃山時代 6 号「垣に桜紫陽花文様小袖」（慶長小袖）

<協力先>

京鹿の子絞振興協同組合

京都刺繍協同組合

<今年度作業>

①②共に生地選定、下絵、糸入れ

*染織祭衣装に関する展覧会

■「室町時代衣装展」の開催

平成 29 年は応仁の乱が勃発して 550 年を迎えることから東陣プロジェクト実行委員会・上京区役所が主催する「応仁の乱～今輝け東陣を訪ねて～」において標記展覧会を開催した。

日 時 5 月 21 日（日）11:00～17:00

会 場 上京区総合庁舎 4 階中会議室（上京区今出川通室町西入）

主 催 東陣プロジェクト実行委員会・京都市上京区役所・当協会

内 容 応仁の乱下にあった室町時代の庶民の装いを当協会所蔵の復元時代衣装 7 点の展示により一般の方々に啓発した。

併催企画 1. 東陣ゆかりの地に設置する説明版の披露
2. 国宝上杉本洛中洛外図屏風の複製パネルの披露
3. 細川氏の関係者と山名氏の末裔の方々による対談

入場料 無料

来場者 282 名

*所蔵資料貸付協力

（染織祭衣装）

◎衣装貸付協力

奈良県立万葉文化館主催「万葉の装い—額田王から淀殿、そして今へ—」

会 期 平成 30 年 3 月 17 日（土）～5 月 6 日（日）10:00～17:30（入館 17:00）

会 場 奈良県立万葉文化館日本画展示室（奈良県高市郡明日香村飛鳥 10）

貸 付 上古～江戸時代末期衣装並びに道具、資料 合計 45 点

◎画像提供協力（衣装撮影を含む）

①NHK BS プレミアム「英雄たちの選択～まさかまさかの応仁の乱～」への衣装撮影

放送日時 7 月 27 日（木）20:00～22:00

撮影衣装 室町時代衣装より 5 点（6 月 15 日撮影）

使用目的 室町時代の庶民の衣装紹介

②TBS「Nスタ」への画像提供

放送日時 11 月 14 日（火）15:49～19:00

提供画像 平安～江戸時代初期衣装 5 点

使用目的 きものが掛ふとんの起源である説明の資料画像

③ハースト婦人画報社「美しいキモノ 2018 年春号」への画像提供

発 売 日 平成 30 年 2 月 20 日（火）

提供画像 室町時代衣装 1 点

使用目的 誌面「きもの歴史散歩 辻が花を知る」への資料画像

④BS-TBS「日本遺産～丹後ちりめん回廊～」への衣装撮影

放送日時 平成 30 年 2 月 11 日（日）9:30～10:00

撮影衣装 桃山～江戸時代初期衣装 2 点（平成 30 年 1 月 26 日撮影）

使用目的 丹後・宇良神社に奉納された小袖の復元としての資料映像

(2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で次の事業に取り組んだ。

*子ども向け染織技術啓発冊子の配布

きものをより身近な衣料として受け止めてもらうと共に、きものには様々な技術が使われていることをわかりやすく伝え染織技術の一端を知ってもらうことを目的に小冊子を制作し、子どもが初めてきものを着るシーンである十三まいり、七五三詣りに於いて、次の通り配布した。

<配布先>

◎十三まいり 日 時 4月1日(土)
配布場所 ご清遊の宿らんざん(嵐山)
配布先 京都織物卸商業組合主催の十三まいりきもの着付希望者のうち30名に配布

◎七五三詣り 日 時 11月11日(土)
配布場所 平安神宮
配布先 京都織物卸商業組合主催の七五三詣り参詣者192名に配布



*染織文化セミナーの開催

◎「変わりゆく着物 一幕末から昭和初期」

日 時 11月28日(火) 14:00~16:00

会 場 からすま京都ホテル3階 瑞雲の間

講 師 澤田 和人 氏(国立歴史民俗博物館 准教授)

内 容 着物が大きく変わりゆく時代であった幕末から明治初期に焦点をあて、昔の着物と今の着物の相違を学び染織文化の啓発をはかった。

受講料 無 料

広 報 (会員・関係団体・美術館等) 当協会より案内送付

(一般) 11/11 京都新聞夕刊に広告掲載、当協会ウェブサイト、フェイスブックで告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 60名

◎「戦国武将の装い 一変り兜と派手な陣羽織の意味するもの」

日 時 平成30年3月19日(月) 14:00~16:00

会 場 からすま京都ホテル3階 瑞雲の間

講 師	小和田 哲男 氏（歴史学者・静岡大学名誉教授）
内 容	変り兜や陣羽織など戦国時代の装いから究極のファッション観とその背景を学び、染織文化の啓発をはかった。
受 講 料	無 料
広 報	（会員・関係団体・美術館等）当協会より案内送付 （一般）2/20 京都新聞朝刊に広告掲載、当協会ウェブサイト、フェイスブックで告知。

受講者数 当協会会員、関係団体、美術館、一般 95 名

*インターネットミニ染織講座の開催

当協会ウェブサイト内において、衣装レプリカ制作工程を撮影した動画を制作し、インターネット動画共有サービス『YouTube』にアップロードし相互リンクして当協会ウェブサイトの閲覧を促した。

◎衣装複製制作プロジェクトシリーズ

- ①「桃山時代 6号 下絵工程」（更新日：9月1日）
- ②「室町時代 12号 下絵工程」（更新日：9月28日）
- ③「桃山時代 6号 糸入れ工程」（更新日：平成30年1月5日）

(3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規定に基づき次の事業への助成を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会主催「メイキング・ワークショップ 2018」への共催

会 期	10月13日（金）～15日（日）10:00～18:00※最終日 17:00
会 場	京都府京都文化博物館別館（中京区三条高倉）
制作テーマ	「HANDSOME—ハンサム—」
出展者	17社 29組
内 容	染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。今回は「HANDSOME—ハンサム—」をテーマに装飾性の高いプリントを訴求し、色・プリント技術での意匠表現に挑戦したプリント服地の提案を行った。当協会からは共催名義使用許可、助成金 50 万円の交付並びに京都染織文化協会理事長賞の下付を行った。

来場者数 1,420 名

■会員事業

*会員のための啓発事業

◎展覧会招待（年2回）

<招待展覧会>

- ・「国宝展」（10/3～11/26 京都国立博物館）
- ・「北斎展」（10/6～11/19 あべのハルカス美術館）

*京都プレス事業

当事業は、染織品の発展と更なる需要を促すために、伝統的な染織技術と先端技術を融合さ

せた新しい素材の開発と加工に取り組み、市場での反応を調査した後、その技術と情報を会員商社にフィードバックする目的で行っている。今年度は和装素材の新しい提案としてシルクオパール糸の開発を、蚕糸科学研究所、京都市産業技術研究所、京都府織物・機械金属振興センターの協力のもと、引き続き取り組んだ。(継続事業)

*会員助成事業

歴史ある染織技術を継承し発展することを目的に、会員の企業活動に対する助成金拠出について助成規定に基づき募集を行い、第2回理事会において次の通り承認された。

◎(株)細尾「きものスタイルのグローバル展開」

内 容 グローバル展開を目標とした 21 世紀の新しいきものを創造するため MIT (マサチューセッツ工科大学)メディアラボとの素材開発並びに新しいきものスタイルの研究を行う。次代のきものファッションに寄与する取組みとして、きものスタイル研究への助成を申請。

決定額 17.6 万円

◎(株)伊と幸「着物の素材となる絹の白生地をきものサローネで PR」

内 容 純国産ブランドの PR による京都発ブランドの強化並びに 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けての和装啓発のため、きものサローネで若い着物ユーザーに向けた技術啓発を行う取組みへの助成を申請。

決定額 69 万円 (報告後の支払額 565,346 円)

◎(株)宮井「保永堂版『東海道五十三次』復刻に伴う活用拡大協力の取組み」

内 容 「初代歌川広重 東海道五十三次」の精密な復刻に取り組んだ東京伝統木版画工芸協同組合に協力し、静電式電子写真方式転写捺染システムを用いて芸術作品の活用用途拡大のための取組みへの助成を申請。

決定額 55 万円

*その他 (新技術に関する情報提供)

◎黒谷和紙への型染 (和紙に型染めを施す技術) の紹介

現代の名工で京小紋の伝統工芸士 松木眞澄氏が和紙に型染めを施す技術を開発されたことを受け、当協会会員に資料等を配布し情報提供を行った。